

令和6年5月29日（水）アジア・アフリカ難民支援運動講演会 30日（木）シンガポール高校生交流訪問



講演会の様子

【アジア・アフリカ難民支援運動講演会】

5月29日(水)にアジア・アフリカ難民支援(以下アジアフ)講演会を行いました。大町岳陽高校では「国際的視野をもち、地域の産業や文化を理解するとともにその将来を担う人間を育成する」という学校目標のもと、毎年アフリカのマリ共和国の学校へ支援物資を行っています。今回はこの支援運動の意義を考えるため、JICA でナミビアの支援活動を行った寺内啓人さんを講師にお迎えし、国際協力の意義や支援活動をする中でご自身にどのような影響があったかなどをお話していただきました。

お話の中で、現地の子供たちは日本の学生が学校にいる時間に働いていることや、路上で生活している人もいること、日本も戦後は他国の支援や援助を受けていたことなど説明していただきました。知識として知っていることでも、現地へ行くなど行動を起こしていく中で、他国のことを自分ごととして捉えられることなど行動することの大切さを伝えていただき、ボランティアの必要性を考える時間になりました。



生徒が質問する様子

【シンガポール高校生交流訪問】

30日(木)、教育旅行の一環でシンガポールの高校生が本校に交流のために訪れました。本校では、生徒会役員と書道部の生徒がシンガポールの高校生をお迎えしました。はじめに岳陽生によるアジアフに関するプレゼンテーション、続いてシンガポールの生徒による環境問題についてのプレゼンテーションを行い、その後書道部の生徒による書道パフォーマンスと交流会を行いました。



シンガポールの生徒のプレゼンテーション

交流会では、シンガポールの生徒が自分の名前や書きたい言葉を書道部の生徒に教えてもらい、筆を使って書く体験を行いました。「Nice!」「OK!」などの会話も飛び交い、楽しく交流していました。最後は互いに記念品の交換、記念撮影を行い、バスでの出発を見送りました。



シンガポールの生徒との交流の様子



書道班パフォーマンス